

例年とは一味違った暖冬も過ぎ、春風を肌を感じられる季節となりました。今日、私たち五十七名は、卒業します。

新型コロナウイルスが、第五類に緩和され、在校生や保護者の皆様、ご来賓の方々にお見送りいただけることを嬉しく思います。

慣れない制服のボタンに苦労しながらも、袖を通し、郷原中学校の門をそわそわしながらくぐり抜けたあの日の私は、今日の自分を想像することはできませんでした。

ひなどりだった中学一年生。最初は、中

学校で過ごす全てが初めてで、移動教室・新しく加わった技術科・美術科・部活動・ノーチャイム。これらが私たちの日常生活になるのには相当時間がかかりました。また、国語や理科・数学といった五教科の難易度も格段に上がり、本当に自分についていけるのだろうかと不安いっぱいの中学校生活が始まりました。一年生の総合的な学習の時間では、郷原のために何ができるのかを考えました。大谷川にフィールドワークに出かけ、蛍について学びました。蛍はどのようなものを食べているのか。蛍はどんなところに住んでいるのか、そして蛍

の生息する大谷川の水質はどのようなのかを調査しました。二年生・一年生のみなさんも郷原の宝である蛍をこれからも守り続けていってほしいと思います。

少し羽が生えた二年生。体育大会は変わらず無観客開催でしたが、競技中はそんなさみしさを感じさせないくらいに全員が勝利に向けて全力でプレーをしました。先輩たちをお手本にしながらも、後輩のお手本となれるように精一杯係活動にも取り組みました。いい先輩の姿が見せられています。たか、今でも思い出すと気恥ずかしいです。

九月には、待ちに待った修学旅行で長崎

へ行きました。みなさんの強い願いが叶い、三日間晴れの中の学習でした。長崎市内の班別自主研修では、長崎の歴史を感じながら班で協力して楽しむことができました。二日目の夜のハウステンボスでは、日が暮れた後のイルミネーションであたり一面が彩られて、とても綺麗でよい思い出になりましたね。

羽ばたく準備ができた三年生。体育大会も文化活動発表会もコロナ禍前のように、お客さんを迎えての開催になりました。久しぶりに聞こえる声援や拍手で、臨場感あふれる中で日々の努力を披露することが

できました。合唱コンクールでは三年生はそれぞれ「言葉にすれば」「ほらね、」を歌いました。練習を積み重ねていくにつれて、各パートの音色がどんどん重なっていき、本番では全員の声が一つの音となって体育館に響き渡りました。見に来てくださった方全員に声を届けることができました。

この郷原中学校で過ごした三年間は、人とのつながりがどれほど大事なものかを感じさせるものでした。三年間でたくさんの人と出会い、多くのことを学び、助けられてきました。周りの人の支えなしではここまで成長することができなかつたと思

います。いつも多大なる支援をありがとうございます
ございます。まずは、九年間一緒に過ごして
きた仲間感謝したいです。いつも行事
の時、本気になって全力で盛り上げてくれ
る仲間たちがいてくれたことで、最高の思
い出を作ることができました。全員が相互
いを応援し合える関係性があることのあ
りがたさを実感することができました。う
まくできるか不安だった時にすぐ手を差
し伸べてくれたとき、とてもほっとして、
自分は一人ではないと気づかせてくれま
した。みんなと過ごした学校生活はかけが
えのない宝物です。本当にありがとう。

一・二年生の皆さん。今までありがとう
ございました。皆さんと関わっていく中で、
果たして本当にお手本になれているのだ
ろうか、と不安になることもありました、
どんな時も笑顔で私たちについてきてく
れたことは、自信につながりました。私た
ちだけでは気づけなかったことをいつも
気づかせてくれました。私たちが卒業した
後、二年生は最高学年に、一年生は新入生
にとっての先輩になります。はじめは不安
になってしまうこともあると思いますが、
大丈夫です。皆さんが経験してきたことを
そのまま実行してください。それが立派な

お手本になります。これからは、堂々として自信をもって新入生を引っ張って行ってほしいと思います。

そして、郷原中学校の先生方。三年間お世話になりました。間違いを起こしたり、トラブルを起こしてしまったりした時も、私たちのことを第一に考えて真剣に指導してくださったことが何より感謝してもしきれません。卒業後も、先生方から教わったことは、自分の糧としていきたいと思っています。

また、私たちを見守ってくださった地域の皆さま、これまでありがとうございます。

郷原の学びをこれからの僕たちにつなげていきます。

保護者の皆さま。僕たちを今日この日まで温かく見守ってくださって本当にありがとうございます。いろいろと困らせたり、悩ませたりしたこともあったと思います。いつもそばで見守ってくださってありがとうございます。これからは少しずつ恩返しをしていきます。これからもよろしくお願ひします。

私たちは、九年間過ごした郷原から今日一人一人が羽を広げて自分の空へ羽ばたきます。もう卒業生全員がこの同じ巣へ帰

ることはなくなりますが、それぞれがかな
えたい夢へと進んでいきます。

最後になりますが、郷原中学校のますま
すのご発展と安泰をお祈りし、卒業生代表
の答辞とさせていただきます。

令和六年三月七日

卒業生代表 小栗孝介